

令和3年11月19日  
(2021年)

保護者のみなさまへ

吹田市立西山田中学校  
校長 池田 広 恵

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、10月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・数学に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えております。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### 【国語 調査結果の概要】

平均正答率は全国平均値とほぼ同じという結果であった。

学習指導要領の領域ごとに見ても「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」全てが全国平均値とほぼ同じである。

また、出題の趣旨ごとにみると、「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」については、全国平均値をやや上回っている。

最後に問題形式で見ても「選択式」「記述式」「短答式」全てにおいて、全国平均値とほぼ同じである。

#### 【国語科における成果と今後の改善点について】

今回の調査結果から、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全ての力において、概ね身につけていると考えられる。しかし、「読むこと」の「文章を論理的に組み立て、表現・記述や文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを記述する力」が比較的弱い。今後は授業の中で、文章を論理的に組み立て、表現する場を増やしていきたい。

その他にも、授業の中で、様々な人数編成のグループによる話し合いの時間を設け、コミュニケーション能力の向上を図っていく。

#### 【数学 調査結果の概要】

平均正答率は全国平均値をやや上回るという結果であった。

学習指導要領の領域ごとにとみると、「関数」の領域では全国平均とほぼ同じ、「図形」「資料の活用」の領域では全国平均値をやや上回り、「数と式」の領域では全国平均値を上回っていた。

個別の問題で見ると、「1:  $(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する」「2: 数量の関係を一元一次方程式であらわす」「6(3): 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する」については全国平均値を上回っている。しかし、「8(1): 気温差が $9^{\circ}\text{C}$ 以上 $12^{\circ}\text{C}$ 未満の階級の度数を書く」については、やや下回っていた。また、「4: 経過した時間と影の長さの関係を、…は…の関数であるという形で表現する」「8(1): 気温差が $9^{\circ}\text{C}$ 以上 $12^{\circ}\text{C}$ 未満の階級の度数を書く」に対する無回答率は全国平均をやや上回っていた。

### 【数学科における成果と今後の改善点について】

授業の最初に行う復習プリントや、習熟度別少人数授業の特性を生かした「数と式」で行う計算問題の時間を多く設けるなど日々の活動を大切にしてきた。そのため、積み重ねてきた基礎的な学習内容が定着してきているものと思われる。各分野については、日々の例題について丁寧に確認し、問題集の取り組み方の指導や教科書の章末問題などのノートチェックを行い、単元の定着に力を入れてきた。今後は、「思考力、判断力、表現力等」をさらに向上させるため、積極的にグループ活動などを取り入れ、生徒が主体的に授業に参加できるようにしていく。現在、得意な分野と苦手な分野を理解し、自らの理解度を把握できる授業を行い、学習意欲を高める授業づくりに取り組んでいる。今後も継続して、数学に苦手意識を持つ生徒には個別の指導を、より発展した課題に取り組みたい生徒には発展問題に挑戦させるなど、生徒の課題と到達目標に合わせた授業づくりを行っていく。また、個別に質問しやすい環境を作るため、テスト週間に行っている補習も継続していく。

## 2 生徒質問紙に関する調査結果の分析

### 【調査結果】（全国平均値との比較）

#### [自分自身のことについて]

- ・自分には、よいところがあると思うと答えた生徒が全国平均値とほぼ同じ。
- ・将来の夢や目標を持っていると答えた生徒が全国平均値とほぼ同じ。
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していると答えた生徒が全国平均値をやや上回る。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うと答えた生徒が全国平均値とほぼ同じ。

#### [家庭生活・家庭学習について]

- ・家で自分で計画を立てて勉強をしていると答えた生徒が全国平均値をやや下回る。
- ・学校の授業時間以外に、普段1時間以上読書をする答えた生徒は全国平均値をやや下回る。
- ・平日に、ゲームを2時間以上すると答えた生徒が全国平均値をやや上回る。
- ・朝食を毎朝食べていると答えた生徒が全国平均値をやや下回る。

#### [地域生活について]

- ・今住んでいる地域の行事に参加していると答えた生徒が全国平均値をやや下回る。

## **[学校生活・学習について]**

- ・学校が楽しいと答えた生徒は全国平均値を上回る。
- ・1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTを週1回以上使用したと答えた生徒が全国平均値を大きく下回る。
- ・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答えた生徒が全国平均値を上回る。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答えた生徒が全国平均値をやや下回る。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると答えた生徒が全国平均値とほぼ同じ。
- ・1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと答えた生徒が全国平均値をやや上回る。

## **【改善・向上のために（学校では）】**

- ・毎日の授業や行事、生徒会や委員会活動などによって、生徒の自尊感情や自己肯定感は着実に育ってきていると思われる。また、どんな小さなことでも生徒の頑張りを認め、声掛けをしていく姿勢をこれからも継続していく。
- ・将来について展望をもっており、キャリア学習等においても一定の成果が見られる。今後も引き続き、取り組みを進めていきたい。
- ・規律を順守したり、人権を尊重したりする道徳的価値の観点において若干数値が低い傾向がみられるため、道徳の授業を一層強化していくなどの対策に取り組んでいく。特に、「いじめ」は絶対に許されないことであるということは、道徳の授業やホームルームなどを通し、しっかりと認識させる。
- ・生徒会活動や委員会活動の活性化を目指し、生徒が主体となって生活改善や規範意識を高めていく取り組みを、これまで以上に推進する。
- ・読書の習慣が低下してきている傾向が見られる。言語力の育成のため、学校図書館の充実、小学校や家庭と連携して読書活動を推進する取り組みを検討し、言語的思考力の向上を図る。
- ・今後の社会の変化に対応していけるよう、ICTを利用した授業展開や主体的、対話的で深い学びを実践できる授業の研究を校内で行い、総合的な学力の向上に貢献できるよう取り組みを進める。

## **【改善・向上のために（家庭では）】**

- ・引き続き学校と協同し、家庭内でも基本的な生活習慣の定着に留意し、子どもの健全な心身の成長を見守っていただく。
- ・家庭での過ごし方や時間の使い方について、子どもと話し合う機会を作り、家庭学習の計画や実践など家庭教育の充実を図っていただく。
- ・地域の行事やボランティアなどに子どもと進んで参加し、地域貢献やボランティア精神の向上に努めていただく。
- ・社会の動きや情勢に関心をもてるように、時事ニュース等について話し合う機会を家族でもっていただく。